

会則(一部抜粋)

詳しくは、
WEBをご覧ください
enekei.jp

第三条(会員資格)

本会の会員は、事業等を経営する個人あるいは、法人とする。
入会に際しては会員2名(あるいは2社)以上の推薦を必要とする。

第四条(目的及び事業)

持続可能なエネルギーに裏打ちされた持続可能な事業経営と経済社会の実現のために、地域経済の構成員である事業者が連携・協力する場を提供することを目的に、以下の事業を行う。

- 地域でのエネルギー自給体制確立に資する活動
- 再生可能エネルギーの実用化に資する調査研究活動
- 原発に関する正しい情報の把握と共有
- 持続可能な経済のあり方の調査研究と提言発信
- 持続可能な企業経営のあり方の調査研究と提言発信
- 上記の活動に関する地域社会での志民、行政、各種諸団体との連携、協議、情報交換と啓発活動
- 上記の活動に関する会員間での情報共有
- 8. その他、本会の目的に合致し必要な諸活動

第五条(役員)

本会の運営のために次の役員を置く。役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

世話役代表	1名
世話役副代表	9名(世話役の中から地区ごとに1名づつ選出する。)
世話役	全国9つの地域から地域ごとに5~10名程度を選出する。
会計	1名
監査	1名

各役員の職務は次のとおりとする。

世話役代表は、本会を代表して会を運営する。会議を招集し、議長を務める。
世話役副代表は、地区の世話役を代表するとともに、世話役代表を補佐する。
世話役は、本会活動の地区での運営にあたり、自地区の世話役副代表を補佐する。
会計は、本会の会計を掌握する。
監査は、本会の会計の妥当性を監査する。

第六条(組織)

- 世話役から成る世話役会を設置する。
- 必要に応じて、地区別世話役会を設置する。
- 必要に応じて、分科会/委員会を設置する。
- 専門的あるいはより広範囲の知見を導入するため、学識経験者、研究者、首長、政治家、ジャーナリスト、コンサルタントなどのアドバイザーからなるアドバイザーボードを設置する。
- 事務局を設置する。

第八条(会費)

会員から原則として年額10,000円の会費を徴収する。

エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議

世話役代表:

鈴木悌介(すずきていすけ)



1955年(昭和30年)、神奈川県小田原市にてかまぼこ屋の次男として生まれる。

神奈川県立湘南高校、上智大学経済学部卒。
1981年から1991年まで、米国ロスアンゼルスにて、スリミ、かまぼこの普及のため、現地法人の立ち上げと経営にあたる。帰国後は家業である鈴廣の経営に参画。
現在、鈴廣かまぼこグループの代表取締役副社長。
慶応元年(1865年)創業の歴史を尊重しつつ、変化し続ける日本人の食生活の中で、かまぼこの存在価値を高めるべく挑戦の日々である。「食べもののいのちを大切に」をモットーとする。

商工会議所活動にも関わり、日本の元気は地域からと地元のみならず、全国のネットワークを活かし、地域の資産を活かした地域の活性化と自立を目指し奮闘中。

2000年・2001年度 小田原箱根商工会議所青年部 会長
2001年度神奈川県商工会議所青年部連合会
2003年度 日本商工会議所青年部 会長
2009年 第3回ローカルサミット実行委員長などを歴任。

アジア商工会議所連合会 若手経営者委員会副委員長。
小田原箱根商工会議所副会頭
合同会社「まち元気 小田原」経営諮問委員
小田原北ロータリークラブ会員
場所文化フォーラム会員など。

会員募集中!
enekei.jp

入会手続き:

1. WEBの入会申込みのページから申込書にご記入の上、事務局宛に送信ください。
2. 事務局からご紹介の会員に確認をとり、確認とれしだいメール返信いたします。
3. 会費をお支払いください。
(お支払いは銀行振り込みにて。)
4. 入金確認後、メール返信いたします。
5. 入会手続き完了です。

設立:

2012年3月20日

事務所:

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-1-1 国際ビル2階 244

Eメール:

contact@enekei.jp

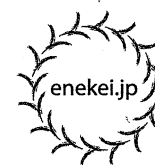
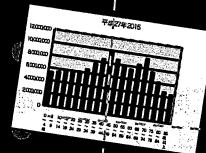
エネ経会議

検索



FacebookやTwitterでログインできます。

エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議



設立の趣意

1. 私たちは経営者の集まりです。

地域に生まれ、育ち、暮らす顔の見える人々とともに働き、地域に支えられ、地域を中心の活動とし、経済活動の一翼を担っている中小企業たちです。

2. 私たちは目指します。

経済人としてエネルギーの問題を正面から捉え、地域での再生可能エネルギーの自給体制の実現を通じて、持続可能な地域経済と地域社会の自立を。

3. 私たちは問い直します。

本当の豊かさとは何かと。「経済」とは単なるお金のやりとりとその周辺での出来事だけでなく、「経世済民」つまり、天下を治め民を救うためのしくみのはず。その本来の姿を取り戻すためには「お金のものさし」だけでない「いのちのものさし」が大切だと。

4. 私たちは行動します。

私たちが具体的に取り組むべきは、単なる反原発運動ではなく、原発がないほうが健全な国・地域づくりができるという対案を示し、それを実践していくこと。そのひとつは地域でのエネルギー自給のしくみを、最初は小さくともいいから、同時多発的に実現させること。たくさんの小さな循環を起こし、そのネットワークを創っていくこと。いわば「実践のネットワーク」。それが私たちの役割だと任じています。

活動の一端

詳しくは、
WEBをご覧ください
enekei.jp

思いと知恵を共有するプラットフォームとして

1. 地域でのエネルギー自給体制を実現するために…
 - 1) 勉強会の開催
 - 2) 先進事例研究視察
2. 再生可能エネルギーについての正しい知識と認識を得るために…
 - 1) 勉強会の開催
 - 2) シンポジウムの開催
 - 3) 映画の上映会の開催
3. 持続可能な企業経営と経済の実現のために…
 - 1) 調査研究
 - 2) 提言発信
4. 各地域での志民、行政、各種諸団体との連携、協議、情報交換と啓発活動

組織の概要

1. **世話役:** 全国9つの地区から100名を超える経営者が設立に賛同し、世話役として活動。(WEB上の名簿をご覧ください。)
2. **世話役地区代表:** それぞれの地区の世話役からその地区を代表する地区の代表9名が選出され、同時に全体の副代表を務める。
3. **世話役代表:** 全体の会を代表。
4. **アドバイザー:** 専門家、首長、政治家各氏がアドバイザーとして参画。(WEB上にてプロフィールを添えてご紹介しております。)
5. **会員:** ご本人の承諾の下、WEB上でお名前を紹介。(全ての会員の名簿はWEB上の会員専用の会員ページでのみご覧いただけます。)